

腎臓・リウマチ膠原病内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	標準化腎生検組織評価法の確立
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原 祥裕
担当科等	腎臓・リウマチ膠原病内科
研究責任者	(職名) 教授 (氏名) 伊藤 恭彦
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 教授 猪阪 善隆
研究の意義・目的	腎生検は腎臓病の診断およびそれに基づく治療方針の決定に重要な検査の一つです。本研究では、腎生検組織診断の均質化を目指し、より適切な治療法の選択と腎予後向上を図ります。
対象となる患者さん	2014年1月1日から2018年12月31日までに当院で腎生検を行った16歳以上の方です。
研究の方法	本研究では、腎生検組織評価方法の標準化を目指し、人工知能などを用いて当院で腎生検を受けられた方の腎生検組織プレパラートの再評価を行います。また、腎生検画像などから腎予後予測が可能であるか否かを検討します。 研究計画書及び研究の方法に関する資料は患者さんの希望があれば入手または閲覧可能です。研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧をご希望される患者さんは、下記問い合わせ先まで申し出てください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022年04月30日
研究に用いる試料・情報	試料：診療に用いた腎生検プレパラート 情報：既存の血液・尿検査結果などの診療情報を使用します。
外部への試料・情報の提供	大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学へ、外部記憶媒体を用いて匿名化したデータの一部を提供します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

担当者：教授 伊藤恭彦

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 23530)